

大阪桐蔭 連覇

智弁和歌山	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
大阪桐蔭	0	0	0	2	0	0	1	2	X	5



新毎日新聞

4月4日(水)

2018年(平成30年)

発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号
〒530-8251 電話(06)6345-1551
毎日新聞大阪本社

号外

2018

第90回記念 センバツ高校野球

主催 毎日新聞社 日本高校野球連盟
後援 朝日新聞社 特別協力 阪神甲子園球場

PL 81・82年

以来3校目



【智弁和歌山―大阪桐蔭】センバツ連覇を果たしマウンドに集まって喜ぶ大阪桐蔭の選手たち―阪神甲子園球場で4日、山崎一輝撮影

第90回記念選抜高校野球大会(毎日新聞社、日本高校野球連盟主催、朝日新聞社後援、阪神甲子園球場特別協力)は最終日の4日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で決勝があり、大阪桐蔭が5―2で智弁和歌山を破り、2年連続3回目の優勝を果たした。連覇は第6、7回(1929、30年)の第一神港商(兵庫―現神港橋)、第53、54回(81、82年)のPL学園(大阪)に続いて史上3校目。智弁和歌山は24年ぶり2回目の優勝を逃した。大阪桐蔭は夏の甲子園を4回制覇しており、春夏通じての優勝回数を広島商、松山商(愛媛)、PL学園と並ぶ歴代2位タイの7に伸ばした。西谷浩一監督の春夏通算優勝回数は6となり、中村順司氏(PL学園)と並んで最多タイ。大阪府勢は11回目のセンバツ優勝で都道府県別で単独最多になり、同じく単独最多の春夏通算優勝回数も23に伸ばした。

春夏優勝7回歴代2位

智弁和歌山は池田、大阪桐蔭は根尾の両右腕がともに今大会2度目の先発。智弁和歌山は三回、神先のチーム初安打となる中前打などで2死二塁としたが、後続が倒れた。

大阪桐蔭は三回まで、毎回2死から走者を出したが無得点。

智弁和歌山は四回、2安打などで2死二、三塁とし、東妻が左前2点適時打を放ち先制。大阪桐蔭はその裏、2連打などで無死満塁とし、石川の遊ゴロ(二塁手の失策)で1点。続く小泉の二ゴロ併殺打の間に1点を加えて追いついた。五回、内野安打などで1死二、三塁としたが、藤原が一ゴロ併殺に仕留められ同点のまま。大阪桐蔭は七回、四球と犠打で1死二塁とし、この回途中から継投した右腕・平田から宮崎が左前適時打を放ち1点を

勝ち越した。

智弁和歌山は八回、四球と根尾の暴投で2死二塁としたが、富田が遊ゴロに倒れた。

大阪桐蔭は八回、四球と暴投で無死二塁とすると、藤原、根尾の連続適時長短打で2点を加えた。智弁和歌山はこの回途中で3番手右腕・根来が登板した。根尾が九回を抑えて完投勝ちした。

先発メンバー

- | | | | | | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 智弁和歌山 | ⑧ | ⑥ | ⑤ | ⑨ | ⑦ | ③ | ④ | ② | ① |
| 阪神西林 | ⑧ | ⑥ | ⑤ | ⑨ | ⑦ | ③ | ④ | ② | ① |
| 山先川 | ⑦ | ⑨ | ⑥ | ⑧ | ① | ④ | ⑤ | ② | ③ |
| 大宮青中 | ⑦ | ⑨ | ⑥ | ⑧ | ① | ④ | ⑤ | ② | ③ |
| 桐蔭地川 | ⑦ | ⑨ | ⑥ | ⑧ | ① | ④ | ⑤ | ② | ③ |
| 原尾田川 | ⑦ | ⑨ | ⑥ | ⑧ | ① | ④ | ⑤ | ② | ③ |
| 泉阪 | ⑦ | ⑨ | ⑥ | ⑧ | ① | ④ | ⑤ | ② | ③ |
| 石小井 | ⑦ | ⑨ | ⑥ | ⑧ | ① | ④ | ⑤ | ② | ③ |
| 藤根山 | ⑦ | ⑨ | ⑥ | ⑧ | ① | ④ | ⑤ | ② | ③ |
| 石小井 | ⑦ | ⑨ | ⑥ | ⑧ | ① | ④ | ⑤ | ② | ③ |
| 元田川 | ⑦ | ⑨ | ⑥ | ⑧ | ① | ④ | ⑤ | ② | ③ |
| 瀬妻田 | ⑦ | ⑨ | ⑥ | ⑧ | ① | ④ | ⑤ | ② | ③ |
| 文富黒高 | ⑦ | ⑨ | ⑥ | ⑧ | ① | ④ | ⑤ | ② | ③ |
| 東池 | ⑦ | ⑨ | ⑥ | ⑧ | ① | ④ | ⑤ | ② | ③ |